

総合計画基本構想特別委員会 会議録

開催年月日	令和2年12月1日(火)	場所	議場
案件	付託案件審査(令和2年第4回定例会) 議案第8号 第6次富良野市総合計画基本構想について		
出席委員	委員(17名)		
欠席委員	本間委員一	事務局	清水・大津・佐藤・向山
オブザーバー	—	傍聴者	—
説明員	稲葉総務部長、関澤企画振興課長、入交企画振興係長		
開会時刻	13時09分	実会議時間	0時間27分
		休憩時間	0時間01分
閉会時刻	13時38分	延会議時間	0時間28分
次回日程	12月4日10:00～、予備日12月7日		
要点記録	<p><概要></p> <p>1. 委員長の辞任について</p> <p>10月30日 佐藤秀靖委員長より委員長の辞任願いが提出された。 佐藤委員長の辞任について、委員会条例第12条第1項の規定により、会議に諮った結果、許可することに決定。</p> <p><休憩-開議></p> <p>休憩中、石上孝雄副委員長より副委員長の辞任願いが提出された。 これにより委員会条例第11条第2項の規定により、最年長委員が臨時委員長として、委員長の職務を行うこととする。</p> <p>石上副委員長辞任について、委員会条例第12条第1項の規定により、会議に諮った結果、許可することに決定。</p> <p>正副委員長の互選を行うこととし、方法等について諮ったところ、正副委員長の互選を同時に行い、指名推薦による方法と決定。 委員より指名を求めたところ、次のとおり決定し、それぞれより挨拶を受ける。 委員長：石上孝雄 委員 副委員長：小林裕幸 委員</p> <p>2. 付託案件審査(令和2年第4回定例会)</p> <p>議案第8号 第6次富良野市総合計画基本構想について</p> <p>議案第8号について、本会議における提案説明に対し補足的な説明を受ける。 総合計画は、地方自治体経営の最上位に位置づけられる計画であり、今回の第6次計画は、まち・ひと・しごと創生人口ビジョン総合戦略と関係が深いため、一体的に検討を進めてきた。 策定の経過は、市民協働セミナー100人ワークショップをはじめ、第2回のワークショップによる意見聴取、地域懇談会や市民意識調査、転入転出者アンケートなどでも意見聴取を行っている。 市の内部では、庁内策定委員会をはじめ、職員を公募してのプロジェクトチームを設置し、一体となって協議を進めている。 富良野市総合計画・総合戦略有識者会議は、これまで6回の会議を開き議論をいただいているところである。有識者会議は、産業界・行政機関・教育機関・金融機関・労働団体・報道機関・市民団体ほか公募委員により協議を進めて来たところである。</p>		

	<p>議案の細部説明については、省略。</p> <p>質疑応答については、これまでのスケジュール等の確認のみ。</p> <p>次回の委員会における、説明員の出席要求及び資料要求は、委員から発言が無く、要求しないことに決定。</p> <p>※ 資料については、委員会終了後、パブリックコメント手続きの配布資料により、資料に代えることとなる。</p>
--	---

以上、委員会会議録について富良野市議会委員会条例第 27 条の規定により、ここに署名する。

副委員長 石 上 孝 雄
臨時委員長 黒 岩 岳 雄
委員長 石 上 孝 雄

総合計画基本構想特別委員会発言記録

閉会 13:09

令和 2 年 12 月 1 日

閉会 13:38

議 場

<p>○ 石 上 委 員</p>	<p>—開会— 13:09</p> <p>それでは、令和 2 年度、富良野市総合計画基本構想特別委員会を開催いたします。最初に、10 月 30 日、佐藤委員より、委員長の辞任願が提出されましたので、この取り扱いについてお諮りいたします。佐藤委員の、委員長辞任を許可することに御異議ございませんか。 →（異議なし） 御異議なしと認めます。よって、佐藤委員の委員長辞任を許可することに決しました。ここで暫時休憩いたします。</p>
	<p>—休憩— 13:11 —再開— 13:12</p>
<p>○ 事 務 局 長</p>	<p>委員会を再開いたします。 休憩中に、石上委員より、副委員長の辞任願が提出されました。この取り扱い及び委員長の互選を行うため、委員会条例の規定により、年長の議員に、委員長の職務を執行していただくこととなります。出席委員中、黒岩岳雄委員が年長の委員でありますので、御紹介させていただきます。</p>
<p>○ 黒 岩 臨 時 委 員 長</p>	<p>ただいま、紹介いただきました黒岩岳雄でございます。 ただいま、私議長宛てに、石上孝雄委員のほうから辞任願が出されました。副委員長の辞任願を出されましたので、これを受理いたします。 ただいま、御説明のあったとおり、臨時に委員長の職務を、私がさせていただきます。それでは石上委員からの副委員長辞任願の取り扱いについてお諮りいたします。 石上委員の副委員長辞任を許可することに御異議ございませんか。 →（異議なし） 御異議なしと認めます。よって、石上委員の副委員長辞任を許可することに決しました。 続きまして委員長の互選を行います。互選の方法ですが、いかようにしたらよいか、お諮りいたします。松下委員。</p>
<p>○ 松 下 委 員</p>	<p>副委員長の互選も同時に行うとして指名推選がよいかと思えます。</p>
<p>○ 黒 岩 臨 時 委 員 長</p>	<p>ただいま、松下委員より、副委員長の互選も同時に行うこととして、指名推選による方法の提案がありました。これに御異議ございませんか。 →（異議なし） 御異議なしと認めます。よって、正副委員長の互選方法は指名推選によることに決しました。 それでは、指名願います。松下委員。</p>
<p>○ 松 下 委 員</p>	<p>はい。委員長に石上委員、副委員長に小林委員を指名いたします。</p>
<p>○ 黒 岩 委 員 臨 時 委 員 長</p>	<p>ほかにございませんか。なければ、お諮りいたします。ただいま松下委員より、委員長に石上孝雄委員、副委員長に小林裕幸委員との指名がありました。これに御異議ございませんか。 →（異議なし） 御異議なしと認めます。よって、ただいまお諮りのとおり決しました。 ここで、委員長より御挨拶をお願いいたします。</p>
<p>○ 石 上 委 員 長</p>	<p>ただいま、小林副委員長とともに指名をいただきました。1 回か 2 回の審議だろうかと思えますけれども、十分な慎重審議をお願いしたく、また、第 6 次富良野市総合計画基本構想は、当初 4 月からの始まりということだったのですけれども、コロナの関係で大分始まりが遅れました。遅れましたけれども、しっかり、きょうの午前中の提案要旨の説明の中でも、しっかり計画のほうはでき上がっているのではなかろうかと思えます。そういう観点から、また議員の観点からもチェックをいただいて、しっかり議論をいただきたいと思えます。以上です。よろしく申し上げます。</p>
<p>○ 黒 岩 臨 時 委 員 長</p>	<p>これで臨時委員長の職務を終わらせていただきます。御協力ありがとうございました。</p>
<p>○ 石 上 委 員 長</p>	<p>それでは、副委員長より御挨拶をお願いいたします。</p>

○小林副委員長	<p>ただいま、指名推薦いただきました。小林でございます。どうぞよろしくお願ひします。委員長は、これまでも、副委員長としてやってこられたので、十分熟知しておると思います。私も、足を引っ張らないように頑張りたいと思います。今後の富良野を決める総合計画ということでございますので、皆さんの御協議よろしくお願ひいたしたいと思ひます。</p>
○石上委員長	<p>この後、本定例会に提案され、本委員会に付託されました、第6次富良野市総合計画基本構想について、担当より説明をいただくこととなっております。 暫時休憩いたします。</p>
	<p>—休憩— 13:21 —再開— 13:21</p>
○石上委員長	<p>それでは、内容の説明のほうに入りたいと思います。よろしくお願ひします。</p>
○関澤企画振興課長	<p>企画振興課関澤と申します。よろしくお願ひいたします。</p> <p>本日、提案させていただきました、第6次富良野市総合計画基本構想について、若干の補足の説明をさせていただきたいというふうに思ひます。</p> <p>第6次の総合計画であります。総合計画につきましては、地方自治体経営の最上位に位置づけられる計画ということで、中長期の視点に立ち、新たな時代に対応できるまちづくりの指針ということで策定をしているものです。今回の第6次富良野市総合計画につきましては、抱える課題が、まち・ひと・しごと創生人口ビジョン総合戦略と密接な関係があるため、一体的なものとして、検討を進めてきたところであります。</p> <p>計画の構成と期間についてということで、議案の2ページのところにも、記載をしています。総合計画については、今回、提案をさせていただいております。基本構想、これにつきましては、まちづくりの方向性と基本的な考えを示すという内容になっております。その下のところに、基本計画ということでありますけれども、基本計画につきましては、具体的な重点施策、それと、個別の事業をもとにしました、基本施策ということで、分けて進めております。</p> <p>今回、提案をさせていただきました基本構想につきましては、まちづくりの方向性、合い言葉になる、まちづくりスローガン。それと、まちづくりの基本的な考え方、観点を示しました、まちづくりのコンセプト。それと、スローガンと、コンセプトをつなげるという意味合いでの、まちづくりメッセージという構成になっております。</p> <p>計画の期間につきましては、令和3年から令和12年までの10年間とするということにしております。計画については、効果的な、見直しも必要になるということも含めまして、前期2年、中期4年、後期4年間、合わせて10年間というふうにして、いただいております。</p> <p>策定の経過であります。これまで議会でも質問もいただいて、答弁をさせていただいている中身ですけれども、庁内の策定委員会を設置いたしまして、考え方を整理して以降、昨年10月20日には、第1回市民協働セミナー100人ワークショップを開催いたしました。このワークショップにつきましては、中学生から80代の方まで、市街地、農村地域、山部、東山、ほとんど全てのエリアから参加をいただいて、テーマを設けた中で、今後の富良野について、協議をいただいております。</p> <p>百人セミナーに参加をいただいた方の中から、26人の方で、第2回のワークショップを開催してきております。検討を策定する材料といたしましては、いまお話をしました、市民協働ワークショップでいただいた、御意見、また、これまで開催をしてきております地域懇談会で、各地域からいただいている御意見、市民意識調査、転入転出者アンケートなど実施をいたしまして、それを大きな材料として、協議を進めてきたところであります。</p> <p>また、市役所の内部では、全施策担当者ヒアリングということで、総合計画を策定するという観点で、施策のヒアリングも、実施してきたところであります。</p> <p>続きまして、検討体制でありますけれども、先ほど申し上げました、庁内策定委員会、こちらは、理事者、部長職が参画をするという中で、方向性を決める会議を設けております。市の職員の公募を行いまして、プロジェクトチームというものをつくって、策定委員会と一体として協議を進めてきているところであります。</p> <p>また、今年度、具体的な基本構想含めて協議をいただいております。富良野市総合計画・総合戦略有識者会議につきましては、昨日も開催をしたことも含め、計6回の有識者会議を開催してきているところであります。この有識者会議につきましては、産業界、行政機関、教育機関、金融機関、労働団体、報道機関、市民団体、また、公募の議員4人の方も含めて、計20人で、有識者会議を組織させていただき、御協議をいただいております。</p> <p>今回お示しをしています、第6次富良野市総合計画基本計画につきましては、10月1日から20日までの間に、パブリックコメント手続も行いながら、また、ことし、コロナの関係で、開催箇所を絞らざるをえませんでしたけれども、地域懇談会の中でも、基本</p>